



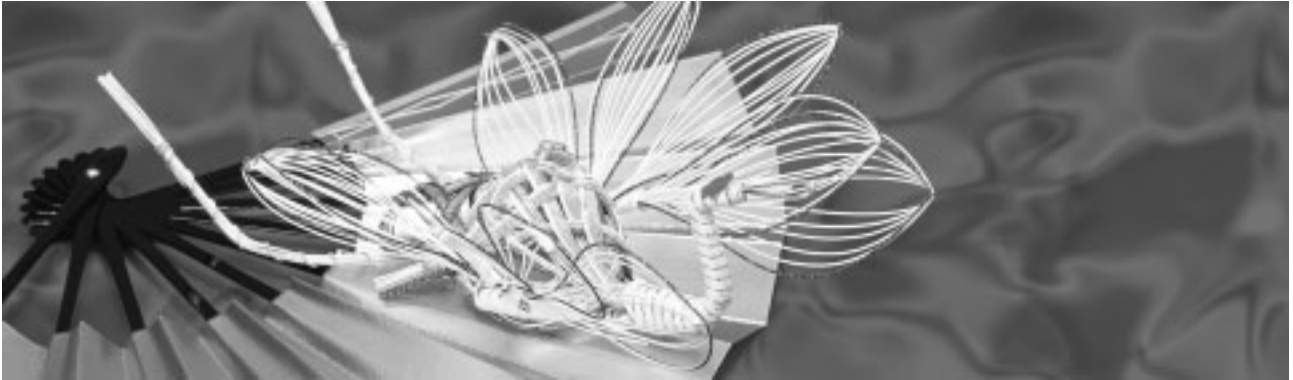
技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

横浜市 技連協だより

第33号 平成19年1月31日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上三寶
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-681-6639 FAX 045-664-9400



謹賀新年

横浜市技能職団体連絡協議会

会長 川上三寶

技連協に加盟の各団体の皆様、明けましておめでとうございます。心からお祝い申し上げます。昨年も、皆様の格別なるご支援とご協力によりまして、技能まつりをはじめ諸行事が盛大にかつ成功裡につつがなく運営できました事に心からお礼申し上げます。皆様のプロとしての「意気込み」「素晴らしさ」はさすがだと分かってはおりましたが、実際に多くを肌で感じさせていただき、誠にありがとうございました。

わが国の景気は明るい兆しが見えてきたとはいえ、ここ10年来、依然としてハッキリしませんが、これが日本経済の現状ととらえて、日本の生活文化を支えてきた我々伝統ある職人の世界の素晴らしさを、後継者の方に、しっかりと、自信と誇りを持って間違いなく、正しく、引き継いでいただきたいと思えます。

また、日本の技能文化の素晴らしさを肌で感じ、この仕事について良かった、間違いなかったと思うと同時に、代々、先輩たちから伝えていただいた事に深く感銘を受けるところでもあります。

今年も会員の皆様とともに、「ものづくりの大切さ」「ものづくりの楽しさ」を多くの方々に伝えるために、様々な事業を通じて、市民の皆様はもちろん、特に若い人々や子どもたちにも、技能の「すばらしさ」と「尊さ」を伝え、後継者の育成につながるように積極的に取り組んでまいります。会員の皆様には、より一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

今年も、皆様にとりまして素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

350万市民がごみ減量・リサイクルに挑戦!

ヨコハマはG30



平成19年の年頭にあたって

横浜市長 中田 宏

あけましておめでとうございます。

本年も、横浜市民一人ひとりが健やかに充実した日々を過ごされるよう祈念いたします。

一昨年に全国の人口が減少に転じ、本年からは団塊の世代が退職期に入るなど、社会は今、転換期を迎えています。横浜を支えるすべての人が共通認識を持って課題に取り組むため、昨年、多くの御意見を踏まえ、約20年間の市政の指針である「横浜市基本構想」とこの実現に向けた22年度までの「中期計画」を策定しました。本年はこの計画を軌道に乗せ、改革から創造へ高く飛躍する決意で、職員とともに取り組んでまいります。

横浜の未来を描く上で、市民が持つ力は欠かせません。G30では、昨年10月末現在で取組前と比べ34.7%のごみが削減され、環境負荷の低減、さらに焼却工場の廃止により経費も大幅に削減できました。「こういう取組は大切だ」という共感の下に、皆で出来ることに少しずつ取り組むことが、克服しがたい困難をも解決し、横浜の新たな魅力・活力を生み出すのです。子育てや防犯・防災、緑の保全・創造などの場面で市民の実践行動が広がり、多様な活動主体が連携しながら地域の課題解決に取り組めるよう、様々な施策を進めてまいりますので、一層の御協力をお願いいたします。

今後、地方分権が進む中、市民が豊かさゆとりを実感できるよう、日本最大の市として国へ提言してまいります。また、自治体の役割と責任が広がる中、経営責任の明確化・法令遵守を旨に市役所の政策力・経営力を高めてまいります。

2009（平成21）年の開港150周年まで900日を切りました。横浜の魅力を外に発信する絶好の契機とするために、「民が主役」を旨として、記念コアイベントの具体化を進めるとともに、プレイベントとして区の周年祝賀を位置づけ、皆様の御参加のもとに実施してまいります。また、2008（平成20）年の主要国首脳会議（サミット）の誘致実現に向けて国へ働きかけてまいります。

本年も横浜市政への御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。



横浜市技能職団体連絡協議会事務局就任のご挨拶

横浜市技能文化会館指定管理者(株)ファンケルホームライフ

代表取締役社長 八木 哲 雄

技連協の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年7月に技連協の事務局に就任させて頂いてもう半年以上が過ぎました。この間皆様から格別なるご支援とご協力により、多くの行事がスムーズに開催されましたことは、大変喜ばしく存じます。この場をお借りしまして皆様に感謝申し上げます。

平成18年4月より技能文化会館の指定管理者ということで管理運営を任されました。建物の管理には慣れておりますが、会館の運営に関しましては、初めてですので、最初は戸惑いました。しかし、月日を重ねるごとに、技能イベントや、職人から学ぶ講座を開催するにあたり、技連協の皆様のご協力なしではやっていけないという事、技連協の皆様と深く関わっていきまないと、スムーズにはいかないという事を痛感いたしました。

まだまだ不慣れで、皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、今後も様々な行事をこなして行く中で、皆様と積極的に交流を深めてまいりたいと存じますので宜しくお願い致します。

私自身は建築会社に40年以上おりましたので、多くの職種の皆様とも接点があります。その経験を十分に活かして、これからの横浜市技能職団体連絡協議会の発展はもちろん、横浜市技能文化会館の発展に向けて技連協事務局として貢献できるよう努力してまいります。今後とも宜しくお願い致します。

受賞のよろこび

(敬称略)

春の黄綬褒章



飯野 忠明 (塗装技能士) (社) 神奈川県塗装協会常任相談役
横浜市技能職団体連絡協議会副会長

平成18年度の春の褒章で、因らずも黄綬褒章受章の栄に浴することが出来ましたのも偏に、これまでご指導頂いた先輩の方々をはじめ多くの皆様のお力添えがあったからこそ心より感謝しております。これからも、この榮譽に甘んずることなく業界、そして技能職の発展に少しでもお役に立てるよう精進を重ねてまいる所存ですので皆様には引き続き温かいご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。

現代の名工 厚生労働大臣表彰



國峯 正美 (印章彫刻士・横浜マイスター) 横浜市技能職団体連絡協議会参与

職人にとって、最高の名誉で受賞が決まった時は感動しました。これも50年余支えて下さった印章組合員の皆様、行政の方々、地域の皆様、そして元気で暮らせた家族のお陰と深く感謝しております。顧みると技能の研鑽と組合活動、団体活動、地域活動など微力ながら携わることができ、現在の自分の大きな糧になったものと考えております。今後は受賞に恥じないよう技能の研鑽に励み、後継者の励みになれるよう努力をしてみたいです。



磯本陽太郎 (理容師・横浜マイスター) 横浜市理容連合会前会長

この度の受賞は、私にとりましては、幸運の一語につきます。何かの間違いかとも思いますが、とにかく、栄えある卓越技術者として厚生労働大臣表彰を受賞でき、これに勝る喜びはございません。今後は、この賞の名に恥じぬよう良い仕事と後継者指導に力をそそいでまいります。

平成18年度横浜マイスター決定

◎鄭 恵淋 (中国料理) 神奈川県中日調理師会会長

平成18年度横浜マイスター称号(高度な能力を持ち、その継承に力を注いでいる技能職者に贈る称号)授与式が、11月10日(金)横浜市長公舎で行われ、調理人(中国料理)の鄭 恵淋様に横浜市長より授与されました。



平成18年度技能功労者・優秀技能者を表彰

平成18年10月24日(火)、横浜市技能功労者と横浜市優秀技能者の表彰式が横浜市技能文化会館多目的ホールで開催されました。

当日は、技能功労者85人、優秀技能者75人が表彰されました。

この表彰は、永く同一の職業に従事する功労顕著な技能職者の社会的・経済的評価及び技能水準の向上を図ることを目的に横浜市が実施して

いるもので、今回で40回を迎える技能功労者表彰は、これまでに

4,033人の方が受賞され、今回で38回を迎える優秀技能者表彰では、これまでに4,990人の方が受賞されています。

当日は、横浜市を代表して技能功労者には本多常高横浜市副市長から、優秀技能者には佐藤成美経済観光局長から表彰状の授与と市長からのメッセージの披露がありました。



横浜市技能功労者の皆様

☆受賞職種 33職種 ☆受賞者 85人

石工	幾田清二	染物洗張	山室良一	板金技能士	佐藤栄吉
石工	佐藤一郎	造園技能士	加山武	表具師	山崎方嗣
印章彫刻士	青山尚文	造園技能士	下山密清	美容師	山下登久子
花卉装飾	笠原今朝年	造園技能士	相澤吉彦	美容師	今野玲子
花卉装飾	成井達男	畳工技能士	山田正	美容師	久徳栄子
看板製作士	中澤俊男	畳工技能士	渡邊清史	美容師	塩澤ヨシ子
看板製作士	佐野紀彦	畳工技能士	岩崎忠定	美容師	永井正道
着付士	寺澤知恵子	調理師	田邊好光	美容師	野田智子
クリーニング師	桑原光治	調理師	元木勝	婦人服裁縫師	大久保靖子
クリーニング師	近藤信竹	調理師	奥山鉄美	婦人服裁縫師	岡田津子
建築大工	五十嵐信夫	調理師	賈永光	ブロック建築	菊地博
建築大工	阿部誠二	豆腐製造業	近藤健吉	洋服裁縫師	齋藤孟
建築大工	遠藤力	豆腐製造業	宮尾義貞	洋服裁縫師	三橋保孝
畳工技能士	小島政雄	豆腐製造業	杉井栄子	浴槽設備技能士	新藤芳夫
建築大工	小池尚雄	時計修理技術者	城所卓司	理容師	合田賢治
建築大工	大山晃男	時計修理技術者	安田俊彦	理容師	田澤康弘
建築大工	塚本隆	塗装技能士	岡部信之	理容師	吉武恵輔
電気工事士	栗原征夫	鳶職	秋本壽夫	理容師	田野井信雄
建築大工	勝又時雄	鳶職	望月孝治	理容師	平間安弘
鍛冶職	早川一則	鳶職	橋本三男	理容師	彗羽田美和
タイル技能士	細矢訓男	鳶職	林本雅雄	ワイシャツ加工	保住健也
左官技能士	鏑木秋男	配管技能士	志水宏巳	和裁師	鈴木英夫
左官技能士	瀬谷忠男	配管技能士	佐々本勝	和裁師	小川俱明
左官技能士	遠藤栄三	配管技能士	近藤利貞	和裁師	高橋きく
左官技能士	日向壽一	配管技能士	平野明	調理師	酒川隆
左官技能士	佐藤實	鍼灸・マッサージ師	君嶋貞子	調理師	風間功
左官技能士	根津誠	鍼灸・マッサージ師	豊田敏子	スクリーン印刷	武田硬
寝具製造業	藤田基次	板金技能士	田中敏一		
染物洗張	山田正一	板金技能士	矢野眞一		

(順不同)

横浜市優秀技能者の皆様

☆受賞職種 29職種

☆受賞者 75人

石工	今平利光	造園技能士	大胡真一郎	配管技能士	岩崎浩一
石工	金井寿彰	造園技能士	大沼永七	鍼灸・マッサージ師	岡部裕志
石工	山本龍平	造園技能士	斉藤伸二	鍼灸・マッサージ師	横塚政久
印章彫刻士	生田友則	造園技能士	吉田龍	板金技能士	矢野良明
型枠大工	荒井清司	畳工技能士	古藤佳男	板金技能士	深井浩士
建築士	福井邦明	畳工技能士	佐藤彰	板金技能士	高野雄大
タイル技能士	佐々木伸一	畳工技能士	相原吉正	表具師	佐久間英司
内装仕上工	飯島杉治	調理師	中尾明彦	美容師	山本奈々
建築大工	望月隆	調理師	藤田勝之	美容師	齊藤勇記
土木職	齊藤丈実	調理師	廣田耕二	婦人服裁縫師	澤谷春美
建築職	山中裕司	調理師	川島徹也	婦人服裁縫師	蛭田美和子
塗装技能士	仁田秀夫	調理師	花木洋一郎	ブロック建築	高橋健一
内装仕上工	大河原佳伸	調理師	大野泰孝	理容師	新井清志
鳶職	馬鳥英一	調理師	羽部光司	理容師	瀬戸邦明
建築士	田宮清志	調理師	佐藤嘉彦	理容師	堀田泰生
建築大工	田中幸夫	豆腐製造業	松本薫明	理容師	五十嵐芳宏
型枠大工	佐藤友二	眼鏡調整士	安ヶ平直樹	理容師	二村敏勝
電気工事士	青柳孝志	鳶職	土志田喜代三	理容師	柳川冬樹
左官技能士	高磯充	鳶職	武川直行	理容師	小島良二
防水施工技能士	吉村孝道	鳶職	唐戸寿之	理容師	中水流雄二
配管技能士	今井秀記	鳶職	小山三男	理容師	鈴木裕二
配管技能士	照屋一二	配管技能士	村崎和夫	理容師	園部光明
左官技能士	貫洞広行	配管技能士	庄司春夫	調理師	佐藤洋二
左官技能士	新正達志	配管技能士	菅原路雄	バーテンダー	池田剛
左官技能士	福田雅之	配管技能士	矢野恵一	スクリーン印刷	加納希夫

(順不同)

平成18年度 事業報告

■平成18年度横浜市技能職団体連絡協議会総会開催

平成18年度横浜市技能職団体連絡協議会総会が、7月18日(火)午後3時30分から41団体、110名の参加のもと横浜市技能文化会館2階多目的ホールで開催されました。

平成17年度事業報告と収支決算報告及び会計監査報告を一括して議題とし全会一致で承認されました。平成18年度事業計画案と平成17年度収支予算案が提案され、全会一致で議決されました。また、各団体の役員退任に伴い8名の新理事が就任しました。

総会終了後は、交流会を開催、来賓として、本多副市長をお迎えしました。

理事の変更

各団体役員退任に伴い新理事が8名就任いたしました。

横浜石工連組合	組合長	花塚 吾朗 (前 幾田 清二)
横浜市理容連合会	会長	斎藤 謙一 (前 磯本陽太郎)
横浜マイスター会	代表	畠山 滋 (前 小泉 徹)
横浜瓦屋根組合	組合長	布川 和夫 (前 待田 人司)
神奈川県洋服商工業協同組合	理事長	新堀 良次 (前 畠山 滋)
横浜市管工事協同組合	理事長	佐々木靖太 (前 鈴木 吉秋)
横浜時計眼鏡貴金属小売商組合	組合長	相澤 昇 (前 城所 卓司)
横浜市洋菓子協会	会長	秋山 信直 (前 藤江 善朗)

(届出順・敬称略)

新規加入団体

神奈川県スクリーン印刷協同組合 副理事長 辻巻 明弘

退会団体

神奈川県漆器工芸組合 神奈川県捺染型協同組合
(社)横浜塗装工業会 横浜市菓子協議会

※理由……会員の減少などにより (届出順)

■全国技能職団体連絡協議会に参加して

開催都市：藤沢市(藤沢市技能職団体連絡協議会)

日時：10月19日(木)～20日(金)

参加者：川上三寶会長・小駒会計理事

テーマ：①平成18年度新規事業または重点事業について

②後継者育成及び発掘活動について

③災害に対する協力体制について

全国的に、少子高齢化に伴い、技能職者の後継者不足がわが国の深刻な問題になっている中、後継者育成(特に、若者向けにインターンシップ事業の実施等)についていろいろな取り組み方をし、それぞれに趣向をこらしながら創意工夫がなされている様子が各都市の発表の中で顕著に確認できました。

技能職者の活動の内容を、一般の方々に周知してもらい、技能職者の地位向上と技能の継承に深く関わっていただくために、どの都市も、ものづくり体験講座を活発に実施し、技能職振興に大変努力をしている様子がうかがえました。

ボランティア活動については、今後の大きな課題ではないかと感じました。再来年の開催予定都市は、尼崎市に決定しました。来年のいわき市での、再会を約束して解散となりました。大変有意義な一日でした。

青年部の活動

●青年部四市交流会に出席して

10月29日(日)、藤沢市技連協青年部の主催による四市技連協青年部交流会が藤沢市にて開催されました。会場の藤沢市労働会館3階にて、藤沢板金工業組合の講師による「銅版細工製作教室」に参加し、銅版画作りを体験させていただきました。



●青年部講演会について

平成19年1月26日(金)午後7時より技能文化会館802号室にて平成18年度技連協青年部の講演会を開催致しました。講師には技連協会長川上三

寶氏をお迎えして、その著「自分の歩んだ道」より～後輩に伝えたいこと～と題して講演をしていただきました。われわれ職人の大先輩として醍醐味のあるお話でした。これからの人生、多いに見習っていききたいと思います。

●青年部今後の予定について

ダンスパーティ



日時：平成19年3月18日(日)午後6時から
場所：横浜市技能文化会館 2階 ホール

恒例のダンスパーティを今年は、場所を技能文化会館に移し、ビッグバンドを迎えて広いスペースで思いっきり踊って楽しんでいただくように企画いたしましたので、皆様ふるってご参加ください。

第27回 よこはま技能まつり開催

平成18年10月1日(日)横浜公園において「第27回よこはま技能まつり」が開催され大盛況のうちに終了することができました。例年の各ブースでの技能披露・技能体験・作品展示・ステージでの技能イベントのほかに、今回は、大勢のお客様に横浜公園で終日、楽しんでいただくためにステージでの抽選会及びビッグバンドなどによる演奏会など新しい企画をたてました。

会場は大勢の人たちで賑わい和やかな一日でした。来場者数は6万5千人でした。



よこはま技能まつりチャリティー益金を「神奈川新聞厚生文化事業団」へ

「第27回よこはま技能まつり」では、参加団体から多大なチャリティー益金にご協力をしていただきました。今年も国内・外と災害の多い年でしたので被災した方々への義捐金としてお渡しすることになりました。

11月18日(金)、川上会長はじめ三役の方々から神奈川新聞厚生文化事業団を通じて被災者へ18万円を寄贈しました。ご協力していただきました団体の皆様ありがとうございました。



第9回横浜マイスターまつり開催



平成18年11月26日(日)、横浜市技能文化会館で、第9回横浜マイスターまつりが開催され、約1,500人の多くの市民が来場されました。

横浜マイスターまつりは、技能職の後継者育成及び技能職の社会的評価の向上を図ることを目的として開催されています。

今年は、横浜マイスターが誕生して12年になります。



匠プラザ リニューアルオープン

技能披露イベント・職人から学ぶ講座の開催オープンスペースとしてオープンしました。また、4階にありました技能文化会館の受付を1階に移動して、技能文化会館においでくださった市民の方々にも実際に匠プラザで開催している技能披露イベント・展示・職人から学ぶ講座などを、実際に近くで「見て」「聴いて」「体験」していただくためにもリニューアルオープンをいたしました。

皆様のご参加をおまちしております。

技能文化会館の 《技能職団体優先利用について》

技能文化会館を技能職の拠点として、総会・役員会議・研修(講習)会など、加盟各団体にご利用いただくために技能職交流室(5階)はもちろん、会館の優先利用の申し込みをぜひご利用ください。

優先利用のみのお問い合わせ・お申し込みは
技連協事務局まで

電話 681-6639 FAX 664-9400

後継者育成に向けて

神奈川県スクリーン印刷協同組合

《捺染型からスクリーン印刷への転換》

捺染型の業界では、毎年、クリスマス用のスカーフの輸出が終わってしてしまうと、11月から年末にかけて仕事が少なくなることを「型の端境期」と呼んでいました。この端境期を何とかしようと若手の後継者が立ち上がり、行政に相談を持ちかけたところ、同じ型を使ったスクリーン印刷を研究してみてもどうかと指導を受け、講習会を開き勉強会を重ね、組合の事業として取り組むことになりました。

捺染は型を使って布に染め、スクリーン印刷は同じ型を使ってプラスチックや金属などに刷れるため、それこそ空気と水以外の*何でも刷れるのでその応用範囲は広く組合事業は成功しました。ところが、スクリーン印刷の成功は型の端境期を解消したのですが、本業が忙しくなる時期は受注できないという事業所が出

副理事長 辻巻 明弘

(前神奈川県捺染型協同組合理事長・平成18年退会)

始め、一方ではスクリーン印刷をするため社員を増やし、組合の中の仕事だけでは足りなくなった事業所は独自に営業を始め、型の製作よりも印刷専門業者に変身してしまいました。そこでスクリーン印刷業者を糾合し、昭和44年3月神奈川県スクリーンプロセス印刷組合を設立しました。

そして、母体となった神奈川県捺染型協同組合は輸出の減少と共に、平成18年3月、50年の歴史に幕を閉じ、現在は後継者育成のためにもスクリーン印刷組合への加入者を迎えて、これからも自信と誇りを失わずに頑張っています。

*丸いものから四角いもの、小さいものから大きいもの、半導体から人工衛星まで、珍しいものでは塔婆などいろいろあります。

技連協の今後の行事

- ◎ 平成18年度技連協研修会
日 時 2月2日(金) 午後3時から
会 場 ホテル横浜ガーデン
講 師 川上 三賢氏 「私の歩んだ道」から ～一流の先輩をめざして～
- ◎ 新春交流会
日 時 2月2日(金) 午後4時から
会 場 ホテル横浜ガーデン
- ◎ 技連協ボウリング大会
日 時 3月6日(火) 午後6時 開会 午後6時15分 スタート
会 場 新杉田ボウル
参加申込みは、2月22日(木)までお願いいたします。



職人から学ぶ 技能実演・体験イベント

「和の世界」 庖丁式と新春お茶会開催

日 時 1月21日(日) 10時～14時
会 場 横浜市技能文化会館 多目的ホール



庖丁式



お茶会

※111名のご参加ありがとうございました。

平成18年度 職人から学ぶ講座

今後の予定

- ▽「プロから学ぶペンキ塗りのコツ」
講師団体 (社) 神奈川県塗装協会
2月18日(日) 午前10時から午後4時
- ▽「花屋さんから学ぶお祝いのフラワーアレンジメント」
講師団体 神花協横浜地区生花商協議会
2月25日(日) 午後1時から午後3時
- ▽「経師屋さんから学ぶ色紙立てづくり」
講師団体 横浜表装インテリア協会
3月25日(日) 午後1時から4時

事務局からのお願い

日頃より、「技連協だより」に、ご協力いただき誠にありがとうございます。各団体でのいろいろなイベントや活動がありましたら、事務局までお知らせ願います。

問合せ先 TEL. 681-6639 FAX. 664-9400